

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	医療英語		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	橋本 美喜男				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	医療専門職として必要な基礎的英語能力を身につける。					
到達目標	1) 視能訓練士として外国人と基本的な英会話ができる。 2) 身体の各部分の名称や主な病気や症状を英語で表現でき、説明できる。					
授業計画	1. Introduction 2. Body Parts 3. Musculoskeletal System 4. Cardiovascular System 5. Respiratory System 6. Digestive System 7. Brain, Nervous System and Sensory System 8. Urinary System 9. Reproductive System 10. Endocrine System 11. Mental Disorders 12. Cancer 13. BLS and ALS 14. Rehabilitation 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	各講義での小テスト 単位認定テスト					
テキスト	井上真紀 他(2021) Because We Care, Second Edition – English for Healthcare Professional, センゲージラーニング株式会社.					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	医療統計学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	田野上 恭子 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	専門科目を理解するために必要な数学を習得する。 また、医学分野における統計学の必要性を理解し、基礎知識を習得する。					
到達目標	公務員試験の教養科目／数的推理 (初級) の知識を理解する。 医学論文を読むために必要な統計の解釈の仕方を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数と計算の基本 (整数, 小数の計算) 2. 数と計算の基本 (分数の計算) 3. 累乗・平方根・数の表記方法 4. 式の変形 5. 割合・比・三角比 6. 中間まとめ, 医学統計の基礎 7. 統計処理の基本 (P 値) 8. 統計処理の基本 (信頼区間, 平均) 9. 統計処理の基本 (散らばり・分布) 10. 統計処理の基本 (相関と回帰) 11. 統計処理の基本 (検査特性) 12. 統計処理の基本 (結果の読み取り方) 13. 統計処理の基本 (数値の取り扱い～有効数字, 視力値) 14. まとめ 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記)					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎医療科学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤 千鶴 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	身体の構造と機能を学ぶ。					
到達目標	身体の基本構造や、各組織の働きを理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命体をつくっている細胞 2. 代謝 (代謝と生物のエネルギー) 3. 代謝 (ATP の構造とエネルギー) 4. 代謝 (呼吸, 代謝を支える酵素) 5. 体液の恒常性 (外部環境と内部環境) 6. 体液の恒常性 (血液の組成とはたらき) 7. 体液の恒常性 (循環系, 老廃物の排出) 8. 中間まとめ 9. 内分泌系と自律神経系 (自律神経系とそのはたらき) 10. 内分泌系と自律神経系 (ホルモンと内分泌系) 11. 内分泌系と自律神経系 (視床下部とそのはたらき, 脳下垂体) 12. 遺伝 (遺伝の要素, DNA の特徴) 13. 遺伝 (DNA の構造, 細胞分裂) 14. 遺伝 (遺伝子の異常, 眼疾患) 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) を実施し, 60 点以上を合格とする。					
テキスト	視能学／第 3 版 (文光堂) 目でみるからだのメカニズム／第 2 版 (医学書院)					
参考図書	まるわかり基礎生物 (南山堂) ロス&ウィルソン健康と病気のしくみがわかる解剖生理学 (西村書店)					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生命倫理学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	西 英久			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	「私は何をなすべきか」という倫理学の根本問題が医療現場において、いかに考えられているかを解説します。本講義は、医療における倫理的問題をただ理解するだけでなく、自らの現実問題として考え直して見ることを目指しています。					
到達目標	哲学的人間学の把握を前提としながら、倫理学の諸問題を具体的・現実的に理解することを目標とします。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学的人間学 2. 英米の倫理学 3. 英米の生命倫理 4. 独仏の生命倫理学 5. 臨床の倫理学 臓器移植 6. 生体での臓器移植 7. 創薬と育薬 8. パーソン論 9. 生殖技術 10. 出生前診断 11. 着床前診断 12. 人工妊娠中絶 13. 安楽死 14. 尊厳死 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	試験 (80%)、発表等 (20%)					
テキスト	講義資料を配付します。					
参考図書	講義中に紹介します。					
備考・特色						

基本情報	科目名	人間関係論		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	四童子 龍子				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々と仕事をしていく上で必要な基礎力の育成。主に論理的に考え、思考する力を高める。 ・ストレスについて理解し、自身をコントロールする必要性ややり方を知る。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考を身につけ最終的に 800 字程度の小論文を書く事ができるようになる。 ・論理的な思考に基づいた自らの体験や意見を短くまとめアウトプットできる。それらの要点を絞って聞きながらメモにすることができる。 ・ストレスについて理解を深め、自分なりの対応をとることができるようになる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション「社会の中で必要な力」を理解し、現在の自己分析をする。 2. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 1 3. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 2 4. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 3 5. 論理的な思考力の応用 1 6. 論理的な思考力の応用 2 7. これまで理解した知識を基に 200 字程度の文を書く。 8. これまで理解した知識を基に小論文を書く。 9. これまで理解した知識を基に小論文を書く。 10. 与えられたテーマを自らの体験や意見を交え短い文章にまとめ、それをアウトプットする。 11. それぞれが「書いた」短い文章を基に「聞く」「メモする」活動に取り組む。 12. グループワークで普段使う言葉の言い換えをみつけ、語彙を増やす。 13. 社会の中で必要な言葉の言い回しを身につける。 14. ストレスについて理解し、対応を知る。 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）10 割 試験 60 点以上を合格 小論文を含む					
テキスト	講義に合わせて資料を作成。					
参考図書	『ふくしま式 200 字メセッドで「書く力」は驚くほど伸びる！』福嶋隆史 2013 年 大和出版 『論理的思考力を鍛える超シンプルトレーニング』福嶋隆史 2010 年 明治図書 『声に出して読みたい日本語』斎藤孝 2001 年 草思社 『ワークショップ人間関係の心理学』藤本忠明・東正訓編 2004 年 ナカニシヤ出版他					
備考・特色	主体的な活動を多く入れます。グループワークなどの相互の意見や知識を取り入れる活動を入れます。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	キャリアデザイン論		分野	基礎	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活
担当者	光法 真帆			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	社会人としてのビジネスマナーを学ぶ 眼科医療機関で実際に視能訓練士が働いている場面を見学し、将来の目標を設定する					
到達目標	理想とする視能訓練士像を明確にする					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書, 志望理由書 2. 履歴書 3. 接遇－敬語, ビジネス語, 挨拶, 身のこなし 4. 手紙とメール 5. 電話 6. 面接 7. 《演習》面接（実践） 8. 単位認定試験 9. 視能訓練士のキャリアデザインについて 10. 眼科医療機関の見学実習のオリエンテーション 11. 眼科医療機関の見学実習 12. 眼科医療機関の見学実習 13. 眼科医療機関の見学実習 14. 振り返りと将来の目標設定 15. 振り返りと将来の目標設定 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色	A4, B5 のポケットファイルを準備してください					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎教養学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	田野上 恭子（視能訓練士）				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	医療従事者として必要な計算力，文章読解力などを学び，基礎学力の向上を目指す。					
到達目標	公務員試験の教養科目（初級）の知識を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解／現代文（内容把握） 2. 文章理解／現代文（要旨把握） 3. 文章理解／現代文（文章整序） 4. 数的処理／判断推理 5. 数的処理／空間把握 6. 《演習》人文科学／伝統文化演習（茶道） 7. 《演習》人文科学／伝統文化演習（茶道） 8. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	多職種連携学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	田野上 恭子（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	この授業は、多職種連携について 2 年次保健医療福祉学Ⅱとパッケージとして段階的に実施します。1 年次は初段階として、良好な対人関係を築くためのコミュニケーションの在り方、価値観の共有と葛藤についてグループワークと成果発表を行います。					
到達目標	医療専門職を志す学生がそれぞれの専門職性について相互に学ぶ体験を通じて、医療における自己の専門職性の役割を理解し、将来の医療連携の展望や連携に必要な「力」を育むことを目標とします					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明, 導入 2. アイスブレイキングワーク コミュニケーションについて 3. グループワーク 他者に与える「印象」と「自己覚知」についての考察 4. グループワーク (コンセンサスゲーム) アサーションとコンフリクト 5. ワーク 6. ワーク 7. ワーク 8. グループ発表 					
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価はグループでの成果発表を採点し成績とします。 ・成績は 90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C として「合格」とします。60 点未満は D として「不合格」とします。 					
テキスト	なし					
参考図書	「リハベシック コミュニケーション論・多職種連携論」(医歯薬出版株式会社) (検査さんの新しくできる本)					
備考・特色	この授業では、授業全体をグループワーク中心に進めます。 皆さんの主体性を持った授業参加を期待します。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	解剖生理学 I		分野	専門基礎	
				教育内容	人体の構造と機能及び心身の発達	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	則行 英樹 (医師)			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 医師			
授業概要	一般に難解とされる人体の構造・機能について、理解しやすいように系統立ててお伝えします					
到達目標	人体を解剖学的、生理学的にアプローチし、臨床現場で役立てていただくことを目標にします					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造／発生学の基礎 2. 上皮組織の区分・構造・機能 3. 支持組織の構造と機能／免疫 4. 筋組織の構造と運動機能 5. 神経組織の構造と興奮伝達 6. 眼球の発生とミクロの構造 7. 中枢神経系 (大脳・間脳・脳幹) 8. 中枢神経系 (小脳・脊髄) 9. 末梢神経系 (脳神経①) 10. 末梢神経系 (脳神経②) 11. 末梢神経系 (脊髄神経) 12. 末梢神経系 (自律神経) 13. 感覚器系 (体性感覚) 14. 感覚器系 (特殊感覚) 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記)					
テキスト	解剖生理学 I 講義用テキスト					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	解剖生理学Ⅱ		分野	専門基礎	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		教育内容	人体の構造と機能及び心身の発達
担当者	則行 英樹 (医師)			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 医師			
授業概要	一般に難解とされる人体の構造・機能について、理解しやすいように系統立ててお伝えします					
到達目標	人体を解剖学的、生理学的にアプローチし、臨床現場で役立てていただくことを目標にします					
授業計画	1. 骨筋学 骨格系 その 1 2. 骨筋学 骨格系 その 2 3. 骨筋学 骨格系 その 3 4. 骨筋学 筋系 その 1 5. 骨筋学 筋系 その 2 6. 骨筋学 筋系 その 3 7. 循環器系 8. 呼吸器系 9. 消化器系 10. 泌尿器系 11. 内分泌系 12. その他の分野・重要事項のまとめ (1) 13. その他の分野・重要事項のまとめ (2) 14. その他の分野・重要事項のまとめ (3) 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記)					
テキスト	解剖生理学Ⅱ講義用テキスト					
参考図書						
備考・特色						

基本情報	科目名	発達心理学 I		分野	専門基礎	
				教育内容	人体の構造と機能及び心身の発達	
	開講期	1年 前期	2単位 30時間		主たる授業方法	講義
担当者	麻生 良太			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	対人援助職に就くものは、人間の心理やそれに基づく行動についての深い理解が求められる。本授業では、心理学の基礎、特に発達心理学の胎児期～学童期について学ぶとともに、それが実生活でどのような行動として表れているかを考えることを通して、適切な対人援助を希求する姿勢を涵養することを目的とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児期～学童期の人間の心理について、基礎的な心の仕組みを発達の視点から理解することができる。 ・胎児期～学童期の人間の行動について、発達心理学的な視点から理解し適切な対応等について考えることができる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは(概説) 2. 発達の諸理論 3. 胎生期の発達と環境 4. 脳とからだの発達 5. 感情の発達 6. 動機づけの発達 7. 中間試験 8. 自己とパーソナリティの発達 9. 言語の発達 10. 認知の発達 11. 愛着の発達 12. 人間関係の発達 13. 社会性・道徳性の発達 14. 心理的発達の過程における障害 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	中間試験(50%)、単位認定試験(50%)					
テキスト	ライブラリ 心理学を学ぶ5 発達と老いの心理学 (サイエンス社)					
参考図書						
備考・特色	授業をただ聞くだけでなく、自分のこととして考える姿勢や、対人援助者の立場で授業内容をとらえ、実際どのように行動すべきかを考えることを求めます。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	発達心理学Ⅱ		分野	専門基礎	
				教育内容	人体の構造と機能及び心身の発達	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	四童子 龍子			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	この授業では、青年期から老年期までの人間の発達及びその心理を学びます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3つの発達理論を軸に人間の一生の発達や課題を理解する。 2. 青年期から老年期の各々のステージにおける発達や心理の在り様を学ぶ。 3. 様々なワークを通じて自己理解を深める。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. フロイト・エリクソン・ピアジェの理論を中心に発達の概略を学ぶ。 2. 思春期・青年期の「身体の変化と心」 3. 思春期・青年期の「男女の差」 4. 思春期・青年期の「親子関係」と「友人関係」 5. 思春期・青年期の「自分について」及びアイデンティティと将来について 6. 発達障害について 7. 成人期初期の自立 8. 成人期初期の恋愛と結婚 9. 成人期初期・中期の親になること（妊娠・出産の諸問題） 10. 成人期後期の身体と心の発達 11. 成人期後期の夫婦関係 12. 成人期後期の社会生活の移行と対人関係の変化 13. 老年期の身体的変化と受容及び対人関係 14. 老年期のメンタルヘルス 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記 10割）60点以上を合格					
テキスト	ライブラリ心理学を学ぶ 「発達と老いの心理学」藤田文 編著 サイエンス社					
参考図書	講義に合わせて作成資料を配布。					
備考・特色	初回の講義において注意事項を説明します。禁止する事項は厳守の事。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎医学 I		分野	専門基礎	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		教育内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
	主たる授業方法	講義				
担当者	木津 由美子 (看護師)				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 看護師、高等学校教諭(看護、保健、養護)			
授業概要	当科目の学習を通して視能訓練士として必要な医療及び患者ケアの基礎的・基本的知識を習得する。特に、視能訓練士の倫理や医療の質と安全の確保、チーム医療の概要を理解することにより、視能訓練士の役割と義務を学び、保健・医療・福祉の概要や視覚障害をもつ患者のケアについて理解する。演習項目として、フィジカルアセスメント及び感染予防の基礎知識・基礎技術を学ぶ、					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視能訓練士の倫理について、関係法令や患者の人権等を学び、理解する。 2. 医療の質と安全の確保について、特に医療安全や感染予防の観点から理解する。 3. チーム医療について、医療スタッフの連携やチームワーク、連絡体制管理等を通して理解する。 4. 保健医療福祉の諸活動に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医の倫理 2. 職務倫理と基本的心構え 3. 患者の権利と義務 4. 患者・視能訓練士関係 5. 患者及びその家族・小児・高齢者・障害者の心理特性とケア 6. 医療面接の方法 7. 演習(1) フィジカルアセスメントの基礎知識・基礎技術① 8. 診療録の記録と報告 9. 安全の確保と危機管理 10. 医療関連感染対策 11. 演習(2) 感染予防の基礎知識・基礎技術① 12. 演習(3) 感染予防の基礎知識・基礎技術② 13. 救急対応と処置 14. チーム医療の概要 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験 80 点、課題 10 点、授業参加度 10 点、計 100 点で実施し、60 点以上を合格とする。					
テキスト	視能学 第 3 版 (文光堂)					
参考図書	系統看護学講座 (医学書院)					
備考・特色	初回授業時に授業ガイダンス(授業目標・学習内容・受講上の注意事項等)を示す。技術演習には興味関心をもって臨む。課題(「基礎医学 I ・ポイント」)に取り組む。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎医学Ⅱ		分野	専門基礎	
	開講期	1年 後期	1単位 15時間		教育内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
					主たる授業方法	講義
担当者	荒金 茂樹 (医師)				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 外科医 (心臓, 肺, 産婦人科) を経て, 病理医として勤務			
授業概要	医療従事者として知っておくべき医学の基礎を学び, 医学用語を正しく理解し, 疾病の原因や成り立ちについて理解を深めます。					
到達目標	1) 医学用語を正しく理解する。 2) 疾病の原因や成り立ち, 回復過程を理解する。					
授業計画	1. 病理学, 病因論, 細胞・組織の障害と修復, 代謝障害 2. 循環障害 3. 炎症と免疫 4. 感染症 5. 先天異常と染色体・遺伝子異常 6. 腫瘍 1 7. 腫瘍 2 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記試験) の 60 点以上を合格とします。					
テキスト	プリントを配布します。					
参考図書	特に設けません。					
備考・特色	授業をしっかり聞いて, 復習しましょう。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚認知学		分野	専門基礎	
				教育内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	
	開講期	1 年 後期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤 圭子 (理学療法士)			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	この科目では神経科学的な知見を踏まえて、視覚に関する知覚メカニズムを学習する。また、脳血管障害によって起こる高次脳機能障害については、視能訓練ならびに検査を行う際に配慮すべき障害を中心に学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳についての基本的事項や、視覚に関連する情報処理過程について理解する。 ・ 脳血管障害患者と関わる際に配慮すべき高次脳機能障害について理解する。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大脳の構造と機能 2. 視覚認知総論① 初期視覚野と視覚路 3. 視覚認知総論② 視覚の処理について 4. 高次視覚情報処理 (認知の影響) 5. 脳血管障害について 6. 高次脳機能障害とは 7. 視覚にかかわる高次脳機能障害 8. 単位認定試験 					
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの確認テストや振り返り(ライティング)など日々の学習成果(20%)、および定期試験(80%)の合計を 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。なお、講義への参加状況や取り組み姿勢等も成績評価に考慮する場合がある。 ・ 再試験は 60 点以上を合格とし、60 点以上であっても科目成績は 60 点と記録する。 ・ 成績の基準は S : 90 点以上、A : 80 点以上、B : 70 点以上、C : 60 点以上、D : 60 点未満とする。 					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視能訓練学 (医学書院) ・ 適宜、講義資料を配布します 					
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ カンデル神経科学 (メディカルサイエンスインターナショナル) ・ 病気が見える 脳と神経 (メディックメディア) 					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能学概論		分野	専門基礎	
				教育内容	視覚機能の基礎と検査機器	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査や弱視者視の専門外来にて POS を実践する			
授業概要	視覚系の構造・機能、視能検査機器に関する基本的知識を履修する 視能訓練士法と関係法規について履修する					
到達目標	1, 視覚系の構造について理解し、視能検査機器の基本的知識を習得する。 2, 視能訓練士法について学び、視能訓練士の責務、倫理、業務の管理、運営を理解する					
授業計画	1. 眼球と眼球付属器、視覚伝導路 2. 視覚情報の基本と機能 3. 検査機器の規格・構成、安全管理 4. 視能矯正の歴史・理念 5. 視能訓練士法と業務 6. 視能訓練士法と業務 7. 診療における視能訓練士の役割 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能学／第 3 版 (文光堂), 視能学エキスパート 視能訓練学／第 2 版 (医学書院)					
参考図書	随時配付資料					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	レンズ光学		分野	専門基礎	
				教育内容	視覚機能の基礎と検査器機	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	藤井 弘也			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	光と光学機器についての幾何学的・物理的原理と機能および眼の光学的な機能および眼の光学的検査・矯正機器の基礎について学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視能訓練士の業務を行う上で重要なレンズを中心としたレンズ光学の基礎を理解する。 ・ 光の性質について、その特徴を述べることができる。 ・ レンズやプリズムなどの光学機器についての性質について作図，計算を使って説明することができる 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 光の性質・波としての光 2. 幾何光学（レンズのしくみと像のでき方） 3. 幾何光学（バージェンスとプリズム） 4. レンズの種類と特長（凹・凸レンズ） 5. レンズの種類と特長（球面・円柱・トーリックレンズ） 6. ミラー（凹・凸面鏡による像のでき方） 7. 収差 8. コーティング・フィルタ 9. 光安全性とレーザー光学 10. 波動光学（偏光・回折） 11. 波動光学（干渉）・粒としての光 12. 眼球光学・矯正の光学 13. 視力検査・コントラスト感度検査 14. 他覚的屈折検査・眼底検査・視野検査・色覚検査 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）10割，期末試験平均60点以上を合格とします。					
テキスト	出版社：医学書院 視能学エキスパート 光学・眼鏡（第2版） 著者：松本富美子他					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	レンズ光学演習		分野	専門基礎
				教育内容	視覚機能の基礎と検査機器
	開講期	1 年 前期	1 単位 30 時間	主たる授業方法	演習
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している		
授業概要	眼鏡処方に必要な基本的知識と検査を学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・眼鏡レンズとフレームの特徴を理解する ・目的に応じて瞳孔間距離の計測が出来る ・各種眼鏡レンズをレンズメータで測定できる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンズの種類・表記について 2. レンズの書き換え 3. 瞳孔間距離計測検査 4. 眼鏡検査/眼鏡フレーム及びレンズ 5. 眼鏡検査/レンズメータ(目的・種類・初期設定) 6. 眼鏡検査/レンズメータ(単焦点レンズの構造と測定方法) 7. 《演習》①(瞳孔間距離計測と単焦点レンズの測定) 8. 《演習》②(瞳孔間距離計測と単焦点レンズの測定) 9. 眼鏡検査/レンズメータ(二重焦点・累進屈折力レンズの構造と測定方法) 10. 眼鏡検査/レンズメータ(プリズムレンズの測定方法)、まとめ 11. 《演習》③(瞳孔間距離計測と二重焦点・累進屈折力・プリズムレンズの測定) 12. 《演習》④(瞳孔間距離計測と二重焦点・累進屈折力・プリズムレンズの測定) 13. 《演習》⑤(瞳孔間距離計測と二重焦点・累進屈折力・プリズムレンズの測定) 14. 《演習》⑥(瞳孔間距離計測と二重焦点・累進屈折力・プリズムレンズの測定) 15. 単位認定試験 				
成績評価の方法	単位認定試験(筆記) 6 割、確認テスト 3 割、課題レポート 1 割				
テキスト	視能学エキスパート 光学・眼鏡/第 2 版 (医学書院), 理解を深めよう視力検査 屈折検査 (金原出版), 屈折異常とその矯正/改訂第 7 版 (金原出版), 視能学/第 3 版 (文光堂)				
参考図書					
備考・特色	演習毎にレポート提出				

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚リハビリテーション学		分野	専門基礎分野	
				教育内容	ロービジョン	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤千鶴（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 視能訓練士として病院での臨床経験を持ち、初級障がい者スポーツ指導員の資格も有している。			
授業概要	ロービジョンについて理解を深め、視覚補助具の種類や使用法を学ぶ。					
到達目標	1) 見えにくいことを体験する中で、視覚障害者の気持ちを知る。 2) 必要な検査や視覚補助具の種類を学ぶ。 3) 倍率の計算ができるようになる。					
授業計画	1. 視覚障害を体験 2. 定義と範囲（障害の定義、分類） 3. リハビリテーションとハビリテーション、患者および家族の心理 4. 必要な検査（問診、視力検査、屈折検査、調節検査） 5. 必要な検査（視野検査、固視検査、コントラスト感度、グレア検査、色覚検査） 6. 必要な検査（両眼視機能検査、電気生理学的検査、遺伝カウンセリング） 7. 視覚補助具（光学的補助具） 8. 視覚補助具（光学的補助具） 9. 光学的補助具を使用 10. 倍率の求め方 11. 補装具 12. 補装具 13. 誘導、バリアフリー、ユニバーサルデザイン 14. 等級について 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）を実施し、60 点以上を合格とする。					
テキスト	ロービジョンケアの実際（医学書院） 視能学第 3 版（文光堂）					
参考図書	新しいロービジョンケア（メジカルビュー社）					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	公衆衛生学		分野	専門基礎	
	開講期	1 年 後期	1 単位 15 時間	教育内容	保健医療福祉と視能障害のリハビリテーションの理念	
	担当者	末松 裕子 (保健師, 精神保健福祉士)		専任兼任の別	講義 兼任	
実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 保健師(公衆衛生、社会福祉)及び看護学校講師の実務経験				
授業概要	<p>公衆衛生学は、疾病の予防や健康の保持増進のために、健康課題を社会全体の問題として捉え、その解決・改善をめざす暮らしに直接関わる教科である。</p> <p>視能訓練士として臨床現場で生かせる公衆衛生学の基本的知識を習得するとともに、果たすべき役割について考える力を培う。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で暮らす人々の健康増進や疾病予防のための環境整備を地域社会全体の視点で捉える公衆衛生の考え方を理解する。 ・ 保健・医療・福祉制度について概説できる。 ・ 健康と疾病や障害、生活との関わりを理解する。 ・ 公衆衛生の課題について理解し、自身の意見を述べることができるようになる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生と健康の概念 2. 健康と疾病や行動に関する保健統計、疫学 3. 社会保障と医療体制 4. 小テスト、感染症対策 5. 生活習慣病予防と健康増進 6. 母子保健、学校保健 7. 精神保健福祉、産業保健 8. 単位認定試験 					
成績評価の方法	筆記試験 90 点、課題 10 点 計 100 点					
テキスト	公衆衛生がみえる 2023-2024(MEDIC MEDIA)					
参考図書	授業の進行に合わせて指示する					
備考・特色	<p>私たちの日常生活では、住んでいる地域や人間関係等目に見えないものや個人の力では変えられない様々なものが影響しており、健康であるためには公衆衛生の観点が必要です。また、「公衆衛生学の概念は、人とどのように一緒に暮らしていくか、どのように健康を保っていくのか等、範囲が広い。」とも言われます。よって、前回の授業内容のポイントについて確認し、次回のテーマの範囲を予習することを期待します。</p>					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	保健医療福祉学 I		分野	専門基礎	
	開講期	1 年 後期	1 単位 15 時間		教育内容	保健医療福祉と視能障害のリハビリテーションの理念
					主たる授業方法	講義
担当者	川井 祐二				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 行政 (大分県) 職員、社会福祉士			
授業概要	この授業では、社会保障・社会福祉に関する、行政組織、現代社会の状況、医療保障、介護保障、障害者福祉の分野とサービスについて学びます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会保障制度の概要を知る 2 医療保険、介護保険、障がい者・児童に関する福祉制度を理解する 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の概要、現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 2. 医療保険制度① 3. 医療保険制度② 4. 介護保険制度① 5. 介護保険制度② 6. 障がい者福祉制度について① 7. 障がい者福祉制度について② 8. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) 9 割, 授業参加度 1 割 合計 60 点以上を合格とします。					
テキスト	系統看護学講座「社会保障・社会福祉」(医学書院)					
参考図書						
備考・特色	<ol style="list-style-type: none"> 1) 初回の授業において注意事項を説明します。 2) 禁止する事項 (私語・遅刻・マナー違反行為の禁止) は、授業期間中 厳守。 					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎視能矯正学 I		分野	専門分野	
				教育内容	基礎視能矯正学	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	大塚美和子 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	正常両眼視機能を理解し説明ができるようにする 両眼視機能の異常を概念的に理解する					
到達目標	両眼でそれぞれ受け入れた感覚を統合して生じた見え方を図などを用いて説明できるようにする					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 両眼視機能の体験 (同時視・融像・立体視・複視) 2. 両眼視機能の定義と正常両眼視機能 (実際空間と視空間、網膜対応) 3. 正常両眼視機能 (ホロプテル円、Panum の融像感覚圏) 4. 正常両眼視機能 (同時視・融像・深径覚) 5. 正常両眼視機能 (静的立体視・動的立体視・抑制) 6. 両眼視機能の発達、両眼視機能の成立条件 7. 中間まとめ、両眼視機能の異常 (抑制・混乱視・複視) 8. 両眼視機能の異常 (網膜対応異常) 9. 両眼視機能の異常 (網膜対応異常) 10. 両眼視機能の異常 (網膜対応異常) 11. 抑制と異常対応の関係 12. 両眼視機能の異常 (複視の種類) 13. 両眼視機能の異常 (複視の種類) 14. 試験対策 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	確認テスト (筆記) 4 割、単位認定試験 (筆記) 6 割とする					
テキスト	視能学 第 3 版(文光堂), 視能学エキスパート視能訓練学(医学書院)					
参考図書	視能学 増補版(文光堂), 視能矯正学(金原出版), 両眼視(金原出版)					
備考・特色	講義の中でその都度練習問題を解きながら理解を深めていく。					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎視能矯正学 II		分野	専門	
				教育内容	講義	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	正 鮎美 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	眼位および両眼視の成立と眼球運動の関わりを理解する。また、斜視の定義・病因論および分類について学習する。2 年次の視能矯正学各論、視能矯正学実習の内容の根幹であるため、確実に理解することが重要である。					
到達目標	① 外眼筋の作用と眼球運動について説明できる。 ② 外眼筋の生理学について説明できる。 ③ 眼位の基本的理念について説明できる。					
授業計画	1. 外眼筋の解剖・走行 2. 外眼筋の作用と神経支配 3. 単眼運動について 4. 単眼運動について 5. 両眼運動について 6. 共同筋 7. 拮抗筋 8. 眼球運動の種類と制御機構・眼球運動障害 9. 習熟度確認 10. 眼位の定義・種類・状態 11. 斜視の定義・病態 12. 斜視の病因論 13. 斜視の分類 14. 斜視の分類 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	習熟度確認 50 点・単位認定試験 (筆記) 50 点					
テキスト	視能学 第 3 版 (文光堂), 視能訓練学 (医学書院)					
参考図書	斜視と眼球運動異常 (文光堂), 神経眼科を学ぶ人のために 第 2 版 (医学書院)					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学 I		分野	専門	
				教育内容	基礎視能矯正学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤 千鶴 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。			
授業概要	屈折と調節の光学を理解する。					
到達目標	1) 屈折の光学と調節の光学を理解する。 2) 屈折検査と調節検査ができるように知識を深める。					
授業計画	1. 眼球光学系 (屈折力, 眼の光軸と視軸, 収差) 2. 屈折の光学 3. 屈折の異常 (近視) 4. 屈折の異常 (遠視) 5. 屈折の異常 (乱視) 6. 屈折の異常 (乱視) 7. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法①) 8. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法①) 9. 遠見の自覚的屈折検査 (クロスシリンダーを用いた乱視の測定方法①) 10. 不同視, 不等像視, 無水晶体眼, 老視 11. 調節の光学 12. 調節の異常 13. 遠点, 近点, 調節域 14. 調節力の計算 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) を実施し, 60 点以上を合格とする。					
テキスト	理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版), 視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学Ⅱ		分野	専門分野	
				教育内容	調節	
	開講期	1 年 後期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤千鶴（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。			
授業概要	他覚的屈折検査を行う上での知識を深める。					
到達目標	各検査の原理を理解し、演習に繋げる。					
授業計画	1. 検影法① 2. レフラクトメータ① 3. レフラクトメータ② 4. 角膜形状解析① 5. 角膜形状解析② 6. 波面収差解析① 7. 波面収差解析② 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）を実施し、60 点以上を合格とする。					
テキスト	理解を深めよう 視力検査屈折検査（金原出版），視能学第 3 版（文光堂） 視能検査学（医学書院）					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学演習 I		分野	専門
				教育内容	基礎視能矯正学
	開講期	1 年 前期	1 単位 30 時間	主たる授業方法	演習
担当者	佐藤 千鶴 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。		
授業概要	生理光学 I の内容を理解した上で正確な自覚的屈折検査と調節検査ができるようになる。				
到達目標	1) 自覚的屈折検査が正確にできるようになる。 2) 調節検査が正確にできるようになる。				
授業計画	1. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法②) 2. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法③) 3. 《演習》 4. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法②) 5. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法③) 6. 《演習》 7. 《演習》 8. 遠見の自覚的屈折検査 (クロスシリンダーを用いた乱視の測定方法②) 9. 《演習》 10. 《演習》 11. 近見の自覚的屈折検査, 自覚的調節検査 12. 他覚的調節検査, アコモドタイム 13. 《演習》 14. 《演習》 15. 単位認定試験				
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) を 90 点, レポートを 10 点とし 60 点以上を合格とする。				
テキスト	理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版), 視能学 / 第 3 版 (文光堂) 視能学エキスパート 視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)				
参考図書					
備考・特色					

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学演習Ⅱ		分野	専門分野	
				教育内容	屈折検査, 調節検査	
	開講期	1 年 後期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤千鶴 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。			
授業概要	生理光学Ⅱの内容を理解した上で正確な他覚的屈折検査ができるようにする。					
到達目標	他覚的屈折検査の方法を理解し, 正しく測定ができるようになる。					
授業計画	1. 検影法② 2. レフラクトメータ, ポータブルレフラクトメータ, フォトスクリーナー 3. 演習 4. 演習 5. 角膜形状解析③ 6. 演習 7. 演習 8. 波面収差解析③ 9. 演習 10. 演習 11. 演習 12. 演習 13. 演習 14. 演習 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) を 90 点, レポートを 10 点とし 60 点以上を合格とする。					
テキスト	理解を深めよう 視力検査屈折検査 (金原出版), 視能学第 3 版 (文光堂) 視能検査学 (医学書院)					
参考図書						
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学 I		分野	専門	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視覚生理学の基本的知識を習得し、視力と色覚、光覚について理解する					
到達目標	視力と色覚、光覚の特徴を習得し、使用目的や検査対象を理解する。					
授業計画	1. 視力① (視覚の成り立ち、形態覚) 2. 視力② (評価方法、視力の種類) 3. 視力③ (視力検査の種類とその特徴) 4. 視力④ (視力に影響する因子、コントラスト視力) 5. 色覚① (色の性質、色覚メカニズムと生理) 6. 色覚② (色覚検査の種類) 7. 色覚③ (色覚異常の種類) 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能学エキスパート 視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)、理解を深めよう視力検査 屈折検査 (金原出版)、理解を深めよう視野検査 (金原出版)、視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学Ⅱ		分野	専門分野	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡美紀（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視覚生理学の基本的知識を習得し、視野と限界フリッカ値について理解する					
到達目標	視野と限界フリッカ値の特徴を習得し、使用目的や検査対象を理解できる。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視野①（視野の概念、視覚伝導路） 2. 視野②（動的視野と静的視野、閾値） 3. 視野③（視野検査の種類とその特徴） 4. 視野④（視野に影響する因子） 5. 限界フリッカ値①（検査対象、目標と限界、測定原理と検査結果の解釈） 6. 視覚生理学の基礎①（視覚生理学、視覚心理学、神経生理学） 7. 視覚生理学の基礎②（脳と神経） 8. 中間まとめ 9. 光覚①（網膜の光化学と分光視感度、明順応・暗順応、暗順応検査） 10. 光覚②（夜盲・昼盲疾患と検査結果の解釈） 11. 視野⑤（視野異常） 12. 視野⑥（視野異常） 13. 視野⑦（視野異常） 14. まとめ 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）7割、中間まとめ試験（筆記）3割 合計点が60点以上で合格とする。					
テキスト	視能学エキスパート視能検査学(医学書院)、視能学エキスパート視能訓練学(医学書院)、理解を深めよう視野検査(金原出版)、視能学第3版(文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学演習 I		分野	専門	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視力検査、視野検査の検査方法を技術的に履修する。					
到達目標	視力、視野検査の検査方法、結果の判定、対象と目的を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視力検査方法① (遠見視力、近見視力、単一・並列視力、乳幼児視力検査、両眼開放視力検査) 2. 《演習》視力検査① 3. 《演習》視力検査① 4. 視力検査方法② (コントラスト感度、干渉縞視力、LogMAR 値、ETDRS チャート、グレア検査) 5. 《演習》視力検査② 6. 《演習》視力検査② 7. 《演習》視力検査①・② 8. 《演習》視力検査①・② 9. 色覚検査方法① (仮性同色表、パネル D-15) 10. 色覚検査方法② (100hue test、アノマロスコープ) 11. 《演習》色覚検査①・② 12. 《演習》色覚検査①・② 13. 《演習》色覚検査①・② 14. 《演習》色覚検査①・② 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能学エキスパート 視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)、理解を深めよう視力検査 屈折検査 (金原出版)、理解を深めよう視野検査 (金原出版)、視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学演習 II		分野	専門分野	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 後期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	御幡美紀（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視野検査、限界フリッカ値の検査方法を技術的に履修する。					
到達目標	視野、視野検査の検査方法、結果の判定、対象と目的を理解する。					
授業計画	1. 視野検査方法①（GP） 講義 2. 視野検査① 演習 3. “ 4. 視野検査① 演習 5. “ 6. 視野検査②（黒板視野計、中心暗点計、対座法）限界フリッカ値検査①（中心 CFF） 講義 7. “ 8. 視野検査②、限界フリッカ値検査① 演習 9. “ 10. 視野検査③（HFA） 講義 11. “ 12. 視野検査③ 演習 13. “ 14. 光覚検査（Goldmann Weekers 暗順応計） 講義、演習 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能学エキスパート視能検査学(医学書院)、理解を深めよう視野検査(金原出版)、視能学第 3 版(文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能検査学 I		分野	専門分野	
				教育内容	眼科一般検査	
	開講期	1 年 後期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	吉本洋平（視能訓練士，認定専任教員）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 臨床にて視能検査に従事			
授業概要	眼科一般検査を履修する					
到達目標	1) 視覚検査機器の基本的知識の習得 2) 使用方法 3) 結果判定 4) 対象と目的を理解する					
授業計画	1. 視覚検査機の基本的知識 視覚情報の基本から安全管理 2. 外眼部検査① 瞼裂幅測定、眼瞼挙筋機能検査 3. 外眼部検査② 眼球突出検査（写真撮影、画像診断含む） 4. 角膜検査 角膜内皮，角膜知覚検査，角膜厚計測 5. 眼圧検査 眼圧測定，房水流出率 6. 涙液検査 涙液量・涙液の質検査 7. 眼底検査(倒像鏡，直像鏡，細隙灯顕微鏡) 8. 単位認定試験 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.					
成績評価の方法	筆記試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	現代の眼科学改定第 13 版(金原出版)，視能学第 3 版(文光堂)，視能検査学(医学書院)					
参考図書	随時紹介する					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能検査学演習 I		分野	専門分野	
				教育内容	眼科一般検査	
	開講期	1 年 後期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	吉本洋平（視能訓練士，認定専任教員）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 臨床にて視能検査に従事			
授業概要	眼科一般検査を履修する 外眼部検査，角膜検査，眼圧検査，涙液検査，眼底検査					
到達目標	視能検査学 I で履修した技術を習得する					
授業計画	1. 演習① 2. “ 3. 演習② 4. “ 5. 演習③ 6. “ 7. 演習④ 8. “ 9. 演習⑤ 10. “ 11. 演習⑥ 12. “ 13. 演習⑦ 14. “ 15. 試験					
成績評価の方法	試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	現代の眼科学改定第 13 版(金原出版)，視能学第 3 版(文光堂)，視能検査学(医学書院)					
参考図書	随時紹介する					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能障害学 I		分野	専門分野	
				教育内容	眼疾患	
	開講期	1 年 後期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	吉本洋平（視能訓練士，認定専任教員）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 臨床にて視能障害に従事			
授業概要	主要眼疾患の基本的知識					
到達目標	視能障害の予防と治療の観点から，種々の障害を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 眼窩・眼瞼・涙器の解剖と生理 2. “ ” の病態と検査・治療 3. 角膜、結膜、強膜の解剖生理 4. “ ” の病態と検査・治療① 5. ぶどう膜の解剖生理 6. “ ” の病態と検査・治療① 7. “ ” の病態と検査・治療② 8. 中間試験 9. 網膜の解剖生理 10. “ ” の病態と検査・治療① 11. “ ” の病態と検査・治療② 12. 視神経の解剖生理 13. “ ” の病態と検査・治療① 14. “ ” の病態と検査・治療② 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	中間テストと単位認定試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	現代の眼科学改定第 13 版(金原出版)，視能学第 3 版(文光堂)，視能検査学(医学書院)					
参考図書	随時紹介する					
備考・特色						

2023 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	弱視各論		分野	専門分野	
				教育内容	視能訓練学	
	開講期	1 年 後期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	大塚美和子 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	弱視について必要な知識を得るために分類や病態などを学ぶ					
到達目標	病態、検査結果からどのような弱視であるのか判断できるようになる					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の視能発達の特徴、感受性期 2. 弱視とは (定義・定義の変遷・原因) 3. 弱視の病態 4. 弱視の分類 (斜視弱視・微小斜視弱視) 5. 弱視の分類 (不同視弱視・屈折異常弱視) 6. 弱視の分類 (不同視弱視) 7. 乳幼児の視力検査の種類 (定性・定量) 8. 調節麻痺薬について 9. 自覚的屈折検査、他覚的屈折検査 10. 固視検査・その他の検査 11. 健診 (乳児健診, 1 歳半健診) 12. 健診 (3 歳児健診, 就学時健診) 13. 健診 (学校健診) 14. まとめ 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	小テスト 3 割、単位認定試験 (筆記) 7 割とする					
テキスト	視能学 第 3 版(文光堂), 視能学エキスパート視能訓練学(医学書院), 視能学エキスパート視能検査学(医学書院), 理解を深めよう視力検査・屈折検査(金原出版)					
参考図書	視能学 増補版(文光堂), 視能矯正学(金原出版), 小児の弱視と視機能発達(三輪書店), 弱視・斜視診療のスタンダード(中山書店)					
備考・特色	毎回、前回の講義内容の復習小テストを行い理解度を深めて次の講義へ進む。					